大学・高専機能強化支援事業（支援２：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
【大学　一般枠、特例枠】実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F114110104592	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（一般枠）
大学名	横浜国立大学	設置区分	国立	事業計画名	横浜国立大学理工学部数物・電子情報系学科情報工学教育プログラム及び大学院環境情報学府情報環境専攻博士課程前期の定員増
学校種	大学	都道府県	神奈川		

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和5年度		3月　理工学部数物・電子情報系学科の収容定員増の認可申請	令和5年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①　10月　情報系教員の公募等実施	①10月　情報系教員の公募等実施し、４名の採用決定		
令和6年度		６月　理工学部数物・電子情報系学科の収容定員増の設置計画を可とする通知	令和6年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①　４月　情報学専門分野の教員増員に伴う居室及び備品等の整備（新規採用教員室を改修予定） ②　４月　教育戦略推進機構を設置。教育戦略推進機構において情報系教員を新規採用し、大学院・学部での教育研究活動開始。教育戦略推進機構における情報系教員の追加公募実施 ③　4月～3月　大学院及び学部における情報系新規設置科目の準備（コンテンツ・教材、シラバス等） ④　１月～3月　理工学部数物・電子情報系学科情報工学教育プログラムの募集定員増による入学者選抜を実施	①　４月～３月　本事業にて採用した教員のための居室として、情報基盤センター別館の改修を行い、備品等の整備を行った。 ②　４月　教育推進機構を設置し、そのYNU新教育領域に情報教育推進部門を設けた。新規採用した４名の情報系教員は、この部門に所属するとともに、理工学部数物・電子情報系学科情報工学教育プログラムを担当する形で教育研究活動を開始した。大学院環境情報学府担当については、学部での卒業研究指導からの連続性を踏まえた、大学院での指導のあり方に関する検討を行った。また、教育推進機構において、初等中等教育段階との連携を担当する教員の追加公募を実施した。 ③　4月～3月　理工学部において、設置計画に沿って新規の情報系専門科目５科目を開設し、令和７年度履修案内に記載した。大学院環境情報学府においては、設置科目の体系に係る検討を行った。加えて、全学教育科目の情報系科目の英語化を進めた。 ④　１月～3月　募集定員増による入学者選抜を実施。令和７年度一般選抜の実績（前期日程・後期日程の合算）は募集人員70名、出願者数645名（9.2倍）であった（参考として、令和６年度は募集人員47名、出願者数615名（13.1倍））。		
令和7年度			令和7年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①　4月　教育戦略推進機構情報系教員~~において追加公募による情報系教員を新規採用し、の~~大学院・学部での教育研究活動~~開始継続~~。教育戦略推進機構における情報系教員の追加公募実施　~~（R8.2.26承認）~~ ②　4月　理工学部数物・電子情報系学科情報工学教育プログラムの入学者増員（定員増による）。情報系における新規の基礎専門科目、基礎実践科目を設置。学内横断的情報系科目群（基礎専門科目、基礎実践科目）の設置 ③　４月～３月　初等中等教育段階の学校との連携に係る情報系教育の強化 ④　４月～３月　地域の自治体や企業等と連携した情報系教育の強化 ⑤　４月～３月　学部レベルの企業との実践科目を拡充 ⑥　４月～３月　情報学専門分野の学生定員増に伴う教室整備（情報系教育のための機能強化）　（R7.3.7承認）	①　4月　教育推進機構情報系教員の大学院・学部での教育研究活動継続。教育推進機構における情報系教員の追加公募を実施し、理工学系大学院・学部担当、地域産学連携活性化担当の2名の採用決定。 ②　4月　理工学部数物・電子情報系学科情報工学教育プログラムの令和7年度入学者は72名であり、令和6年度と比べて20名の増加を達成した。情報系における新規の基礎専門科目として情報工学基礎演習、基礎実践科目として情報工学実習IおよびIIを設置し、令和8年度以降開講に向け準備を進めた。加えて、情報工学特別演習、先端情報工学ゼミナール、生体・人間情報解析を設置し、令和8年度以降開講に向け準備を進めた。また、学内横断的情報系科目群（基礎専門科目、基礎実践科目）として、数理・データサイエンス・AI入門、データサイエンス実践基礎、AI実践基礎の３科目の全学教育科目を開設した。 ③　４月～３月　小中高情報担当として非常勤教員を採用し、附属鎌倉小学校に情報系分野の教員を継続的に派遣してICT活用授業の高度化を支援し、授業改善を行うことを通じて、初等中等教育段階の学校との連携に係る情報系教育を強化した。 ④　４月～３月　新たに企業との実践科目として、神奈川県情報サービス産業協会、日本綜合研究所の協力により、実務の最前線で活躍する専門家たちによるオムニバス形式の講義「ITシステム開発プロセス」を開講し、地域の自治体や企業等と連携した情報系教育を強化した。 ⑤　４月～３月　上述の「ITシステム開発プロセス」の開講を通じて、学部レベルの企業との実践科目を拡充した。 ⑥　４月～３月　情報学専門分野の学生定員増に伴い、情報教育システムの構築として情報教育ソフトウェア（自動採点システム、アダプティブ学修定着支援システム等）の導入、及び学生指導室の整備を通じて情報系教育のための機能強化を行った。		
令和8年度			令和8年度自己評価	リストから選択してください。
	①　４月～３月　理工学部定員増による情報系教育を継続 ②　４月～３月　理工学系における情報系教育の強化 ③　４月～３月　データサイエンスに係る情報系教育の強化 ④　４月～３月　初等中等教育段階の学校との連携に係る情報系教育の継続 ⑤　４月～３月　地域の自治体や企業等と連携した情報系教育の継続 ⑥　４月～３月　学部レベルの企業との実践科目を拡充 ⑦　4月　教育推進機構における情報系教員の追加公募実施（R8.2.26承認） ⑧　４月～３月　情報学専門分野の学生定員増に伴う教室整備（情報系教育のための機能強化）　（R8.2.26承認）			
令和9年度			令和9年度自己評価	リストから選択してください。
	①　４月～３月　理工学部定員増による情報系教育を継続 ②　４月～３月　理工学系における情報系教育の継続 ③　４月～３月　データサイエンスに係る情報系教育の継続 ④　４月～３月　初等中等教育段階の学校との連携に係る情報系教育の継続 ⑤　４月～３月　地域の自治体や企業等と連携した情報系教育の継続 ⑥　４月～３月　学部レベルの企業との実践科目を継続			
令和10年度	大学院環境情報学府情報環境専攻博士課程前期の収容定員増に係る概算要求予定		令和10年度自己評価	リストから選択してください。
	①　４月～３月　理工学部定員増による情報系教育を継続 ②　８月　大学院環境情報学府情報環境専攻博士課程前期の募集定員増による入学者選抜を実施 ③　４月～３月　理工学系における情報系教育の継続 ④　４月～３月　データサイエンスに係る情報系教育の継続 ⑤　４月～３月　初等中等教育段階の学校との連携に係る情報系教育の継続 ⑥　４月～３月　地域の自治体や企業等と連携した情報系教育の継続 ⑦　４月～３月　学部レベルの企業との実践科目を継続			
令和11年度			令和11年度自己評価	リストから選択してください。
	①　４月～３月　大学院環境情報学府情報環境専攻博士課程前期の入学者増員（定員増による）。理工学部定員増による情報系教育を継続 ②　４月～３月　理工学系における情報系教育の継続 ③　４月～３月　データサイエンスに係る情報系教育の継続 ④　４月～３月　初等中等教育段階の学校との連携に係る情報系教育の継続 ⑤　４月～３月　地域の自治体や企業等と連携した情報系教育の継続 ⑥　４月～３月　学部レベルの企業との実践科目を継続			
令和12年度			令和12年度自己評価	リストから選択してください。
	①　４月～３月　理工学部、大学院環境情報学府定員増による情報系教育を継続 ②　４月～３月　理工学系における情報系教育の継続 ③　４月～３月　データサイエンスに係る情報系教育の継続 ④　４月～３月　初等中等教育段階の学校との連携に係る情報系教育の継続 ⑤　４月～３月　地域の自治体や企業等と連携した情報系教育の継続 ⑥　４月～３月　大学院レベルの企業との実践科目を拡充			
令和13年度			令和13年度自己評価	リストから選択してください。
	①　３月　修了者アンケートを実施する予定、博士課程後期への進学調査を実施予定 ②　４月～３月　理工学部、大学院環境情報学府定員増による情報系教育を継続 ③　４月～３月　理工学系における情報系教育の継続 ④　４月～３月　データサイエンスに係る情報系教育の継続 ⑤　４月～３月　初等中等教育段階の学校との連携に係る情報系教育の継続 ⑥　４月～３月　地域の自治体や企業等と連携した情報系教育の継続 ⑦　４月～３月　企業との実践科目を継続			
令和14年度			令和14年度自己評価	リストから選択してください。
	①　4月～3月　令和15年度に実施する理工学部数物・電子情報系学科情報工学教育プログラム定員増員に伴う学内の学部定員減の準備 ②　４月～３月　理工学部、大学院環境情報学府定員増による情報系教育を継続 ③　４月～３月　理工学系における情報系教育の継続 ④　４月～３月　データサイエンスに係る情報系教育の継続 ⑤　４月～３月　初等中等教育段階の学校との連携に係る情報系教育の継続 ⑥　４月～３月　地域の自治体や企業等と連携した情報系教育の継続 ⑦　４月～３月　企業との実践科目を継続			

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	横浜国立大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の〇の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）

④ 特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。

⑦ 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。

⑧ 教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）

⑨ 機構による事業計画の選定があった日から２年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。

⑩ 計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）５名以上の入学定員の増員を行う計画であること。

⑪ 国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第５期中期目標期間終了時までに他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。

⑫ 教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。

⑬ 文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑫の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の〇の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
すべての項目が要件を満たしている												

①～⑫の要件を満たしていない又は対象でない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑬,⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑬,⑭について	現在の状況
⑬文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。	認定を受けている
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学と企業等(自治体含む)との共同研究契約金額は毎年増加傾向であり、研究者一人当たりの研究費受入額は全国的に高い水準にある。既に神奈川県政策局、富士通、東芝、IHI等と連携講座を設置する等、着実に有機的連携が進んでいる。また、かながわ産学公連携推進協議会や横浜未来機構の議長組織として地域の産業振興に貢献し続けている。これら地域の確かな連携基盤を活用し高度情報専門人材育成の取組を深化させる。具体的には、連携講座や包括連携を拡充して共同研究開発に大学院生を積極的に参画させることで実務課題解決能力を備えた高度情報専門人材を育成輩出する。地域の中小企業・スタートアップを含め幅広く実務経験者を講師に招いた実践的科目の設置、社会人向けリスキリング・リカレント教育制度構築等により、地域の産業戦略に即した人材ニーズに応える。更に、神奈川県や横浜市の教育委員会等と連携し、本学附属小中学校や県立高校等への出前授業、中高生対象のプログラム開催等により、将来の理工系・情報系への進路を高める地域人材育成に貢献する。	企業等と連携した取組について、情報系分野において30の企業等と32件の共同研究を実施しており、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所との研究に５名、株式会社IHIとの研究に5名の学生が参画するなど、42名の学生を参画させ、高度情報専門人材の育成を図っている。 実務経験者を講師に招いた実践的科目の設置について、「ITシステム開発プロセス」を令和７年度から開講している。この講義では、神奈川県情報サービス産業協会、日本綜合研究所の協力により、大規模情報システム開発に関わった専門家や起業して経営的な実務の最前線で活躍する専門家によるオムニバス形式の講義で構成され、「情報サービス産業入門」と位置付けられる内容である。 社会人向けリスキリング・リカレント教育制度の構築について、令和６年度に開設した社会人対象の「応用AI学修証明プログラム」では、AI技術を現場で活用している社会人等の学び直しのため、大学の教育資源を活用した高度実務人材育成を行っている。令和7年度は3名が履修し、修了した。 横浜市教育委員会との連携について、６月に本学及び附属学校との共同研究のための連携協定を締結した。デジタル学習基盤を有効に活用した新たな時代にふさわしい学びについて、共同研究を行うこととしている。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
我が国や地域のデジタル分野の成長のためには中長期的視点でのデジタル人材育成が必要であり、初等中等教育段階からの情報系教育推進が不可欠である。本学は附属小学校2校(横浜、鎌倉)、附属中学校2校(横浜、鎌倉)、附属特別支援学校を擁することから、大学から情報系分野の教員を派遣して、現在進行中のGIGAスクール戦略とも連携しつつ、情報系コンテンツ教材の改善と共に魅力ある授業を提供する。また、高等学校に関しては、神奈川県教育委員会（高校教育課）と事業連携し、学力向上進学重点校や理数教育推進校（SSH高校など）指定校のうち、情報教育を先導する県立高校を対象に「数理・データサイエンス・ＡＩ入門（リテラシーレベル）」の出前授業を行う計画である。また、本学の情報系研究室を研修場所として、高校教員対象の「データサイエンス等指導力向上プログラム」を実施する計画である。以上より、本学は神奈川県にある国立大学として、地域において若い世代から将来デジタル分野で優秀な人材が育つための取組を実施する。	自治体や初等中等教育段階の学校との連携に関する取組として、３月に神奈川県教育委員会主催、本学共催により「かながわ探究フォーラム」を本学にて開催した。当フォーラムは、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）、理数教育推進校及びSTEAM教育推進校等（DXハイスクール校含む）における生徒の探究的な学習活動の成果発表会である。生徒の発表はポスター発表形式で行われ、本学からは、本事業で雇用された特任教員２名を含む６名の教員が参加し、助言等を行った。 令和７年度は、情報系教員が横浜サイエンスフロンティア高等学校にて出前授業を実施した（講義タイトル：文章生成AIの仕組み）。 附属鎌倉小学校に情報系分野の教員を継続的に派遣してICT活用授業の高度化を支援した。派遣教員は、GIGAスクール構想で整備された1人1台端末の環境を基盤として、ロイロノート、Google Classroom、Kahoot!、Gemini 等のデジタルツールを用いた授業改善を行った。特にロイロノートによる思考の可視化や、Gemini を活用した振り返り評価は、児童生徒の学習過程を即時に把握する手法として有効であり、教員の業務負担軽減にも寄与した。また、算数・数学科の教材設計の改善、アクティブ系ICTツールを活用した主体的・対話的で深い学びを促す授業モデルの構築支援などの取組により、附属校におけるICT活用の体系化が進むとともに、大学と学校現場の連携に基づく実践知の蓄積が図られた。	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
大学院環境情報学府入試説明会において本学の女性教員や女子学生への相談の機会を設け、入学後はダイバーシティ支援奨学金制度等で継続的な女子学生支援を行う。また、神奈川県教育委員会(高校教育課)と事業連携し、女子学生の理工系進学率の低い県立高校を選定して精力的に出前授業を行う等、情報系科学講座の各種プログラム実施の枠組みの中で、将来の理工系女子学部生確保に努める。中長期的視点では、本学附属学校との連携の中でデジタル分野で女性の人材育成が促進されるよう、教育コンテンツ制作や出前授業設計を工夫する。社会人学生については、企業向けに本学卒業生の評判調査を実施することに加えて、地域企業への社会人意識調査アンケート等も実施してニーズを的確に把握し、情報系分野におけるリスキングやリカレント教育による社会人学生の獲得を行う。留学生獲得については、本学と連携の深い海外大学（特にアジア圏）からの大学院生受入れの枠組みを新たに構築すると共に、本学の高等研究院が国際的ハブとなり研究連携の中で優秀な留学生獲得に取り組む。	環境情報学府では、ダイバーシティ研究支援奨学金を募集したほか、女子向け説明会の実施を検討している。また、大学院先進実践学環では、令和7年度に研究テーマ「集積エレクトロニクスと社会展開」に女子特別選抜を導入し、令和８年度は１名が志願、合格した。 社会人向けリスキリング・リカレント教育制度の構築について、令和６年度に開設した社会人対象の「応用AI学修証明プログラム」では、AI技術を現場で活用している社会人等の学び直しのため、大学の教育資源を活用した高度実務人材育成を行っている。令和7年度は3名が履修し、修了した。 留学生等の確保に向けた取組として、2023年度「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」にて採択された環境情報学府の「安心・安全な持続可能社会に対応するための環境と情報を高度に融合させる人材育成プログラム」による入学者は、博士課程前期3名（うち、情報環境専攻1名）、博士課程後期2名（うち、情報環境専攻1名）だった。また、環境情報学府情報環境専攻では、令和7年度に博士課程前期8名、博士課程後期7名の留学生が在籍しており、国際的ハブとなっている高等研究院にて研究を担う教員の研究室に所属する留学生は博士課程前期3名、博士課程後期3名であった。	

④ 他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学は、(1)神奈川県内大学院学術交流協定、及び、(2)横浜市内12大学単位互換制度に参画しており、既に神奈川県内・横浜市内の他大学に多くの科目提供を行っている。特に(1)では大学院の情報系科目を15科目提供しており、(2)では学部情報系科目を5科目提供している。本計画では、新たに開講設置する科目を(1),(2)に追加することにより、神奈川県内・横浜市内の他大学にさらに広く教育機会を提供し、地域全体の高度情報系教育の強化に取り組む計画である。さらに横浜市立大学とは互いに強みをもつ特色ある分野での情報系科目を補完し合い(本学からはAIや情報セキュリティ関連科目、横浜市立大学からは医療情報やヘルスケア関連科目を提供し合う)、共に情報教育拡充を図る計画である。また近隣県の高専とも連携して講義科目の提供、高専教員との協力体制構築を計画し、我が国の即戦力を備えた人材育成に寄与する。また、海外連携大学とは定期的に教員・学生参加型の学術交流イベントを開催しており、情報系分野を焦点に当てた交流を活性化させて大学院生受入の拡大を図る。	令和7年度は計画どおり、神奈川県内大学院学術交流協定では大学院の情報系科目を15科目、横浜市内12大学単位互換制度では学部情報系科目を5科目提供した。拡充については、既に行われている協定及び単位互換制度をベースに検討する。 高等専門学校と連携した取組について、引き続き近隣県の高等専門学校（木更津工業高等専門学校等）との連携を検討している。 海外の大学と連携した取組として、環境情報学府では9月に大連理工大学との情報系分野の教育研究を含むサマースクールを実施し、学生8名の派遣を行った。	

大学名	横浜国立大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（一般枠）

本事業対象となる研究科等の個数	1

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－２.修士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	大学院環境情報学府情報環境専攻博士課程前期

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定						増員												
事業計画に定める定員		入学定員	人	65	65	65	65	65	65	85	85	85	85									
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	65	65	65	65															
		入学者数	人	71	81	73	74															
		女子学生数	人	4	12	5	6															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	5	3	2	3															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	3	1	1																
		女子学生数	人	3	0	1																
		社会人学生数	人	2	0	0																
		留学生数	人	1	1	1																
	入学者合計	入学定員(A)	人	65	65	65	65	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	74	82	74	74	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	7	12	6	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	2	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	6	4	3	3	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.14	1.26	1.14	1.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	130	130	130	130															
		在籍者数(D)	人	138	159	162	152															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.06	1.22	1.25	1.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	61	63	82	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		就職者数	人	54	52	76																
		進学者数	人	4	9	6																
		その他	人	3	2	0																
		進路不明	人	0	0	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	4	4	3	4															
		授業科目の単位数	単位	2	2	2	1															

大学名	横浜国立大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（一般枠）

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－３.学士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	理工学部数物･電子情報系学科情報工学教育プログラム

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定		増員																
	事業計画に定める定員	入学定員	人	47	47	70	70	70	70	70	70	70	70									
		編入学定員	人																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	47	47	70	70															
		入学者数	人	55	55	76	73															
		女子学生数	人	6	6	7	6															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	4	3	4	4															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	47	47	70	70	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	55	55	76	73	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	6	6	7	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	4	3	4	4	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.17	1.17	1.09	1.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	収容定員等	収容定員(C)	人	188	188	211	234															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	219	217	239	273															
		編入学者数	人	2	3	3	4															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.16	1.15	1.13	1.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	56	54	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		就職者数	人	9	6	2																
		進学者数	人	43	44	39																
		その他	人	4	4	2																
		進路不明	人	0	0	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	12	14	16	17															
		授業科目の単位数	単位	76	95	88	86															

大学名	横浜国立大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（一般枠）

２.情報系組織の状況

２－１.博士課程

年度				R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	12	12	12	12															
		入学者数	人	8	11	11	9															
		女子学生数	人	1	2	1	1															
		社会人学生数	人	2	5	4	4															
		留学生数	人	1	3	1	1															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	3	4	4																
		女子学生数	人	1	0	0																
		社会人学生数	人	1	0	0																
		留学生数	人	2	1	2																
	入学者合計	入学定員(A)	人	12	12	12	12	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	11	15	15	9	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	2	2	1	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	3	5	4	4	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	3	4	3	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.92	1.25	1.25	0.75			-	-				-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員(C)	人	36	36	36	36															
		在籍者数(D)	人	34	35	43	51															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.94	0.97	1.19	1.42			-	-				-	-			-	-		
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	8	5	5																
		就職者数	人	6	4	4																
		進学者数	人	0	0	0																
		その他	人	2	1	1																
		進路不明	人	0	0	0																
	大学院博士課程	満期退学者数	人	0	0	0																
		学位取得者数	人	9	5	6																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	4	4	3	4															
		授業科目の単位数	単位	1	1	1	1															

大学名	横浜国立大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（一般枠）

２.情報系組織の状況

２－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	65	65	65	65															
		入学者数	人	71	81	73	74															
		女子学生数	人	4	12	5	6															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	5	3	2	3															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	3	1	1																
		女子学生数	人	3	0	1																
		社会人学生数	人	2	0	0																
		留学生数	人	1	1	1																
	入学者合計	入学定員(A)	人	65	65	65	65	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	74	82	74	74	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	7	12	6	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	2	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	6	4	3	3	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.14	1.26	1.14	1.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	130	130	130	130															
		在籍者数(D)	人	138	159	162	152															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.06	1.22	1.25	1.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	61	63	82																
		就職者数	人	54	52	76																
		進学者数	人	4	9	6																
		その他	人	3	2	0																
		進路不明	人	0	0	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	4	4	3	4															
		授業科目の単位数	単位	2	2	2	1															

大学名	横浜国立大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（一般枠）

２.情報系組織の状況

２－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	47	47	70	70															
		入学者数	人	55	55	76	73															
		女子学生数	人	6	6	7	6															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	4	3	4	4															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	47	47	70	70	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	55	55	76	73	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	6	6	7	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	4	3	4	4	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.17	1.17	1.09	1.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	188	188	211	234															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	219	217	239	273															
		編入学者数	人	2	3	3	4															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.16	1.15	1.13	1.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	56	54	43																
		就職者数	人	9	6	2																
		進学者数	人	43	44	39																
		その他	人	4	4	2																
		進路不明	人	0	0	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	12	14	16	17															
		授業科目の単位数	単位	76	95	88	86															

大学名	横浜国立大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（一般枠）

３.大学全体の状況

３－１.博士課程

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	116	116	116	116															
		入学者数	人	69	71	74	76															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	34	44	44																
	入学者合計	入学定員（A）	人	116	116	116	116	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	103	115	118	76	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.89	0.99	1.02	0.66	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員（C）	人	348	348	348	348															
		在籍者数（D）	人	424	410	423	413															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.22	1.18	1.22	1.19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

３.大学全体の状況

３－２.修士課程

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	811	811	811	811															
		入学者数	人	784	809	813	825															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	37	24	24																
	入学者合計	入学定員（A）	人	811	811	811	811	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	821	833	837	825	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.01	1.03	1.03	1.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員（C）	人	1,622	1,622	1,622	1,622															
		在籍者数（D）	人	1,659	1,694	1,713	1,727															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.02	1.04	1.06	1.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

大学名	横浜国立大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（一般枠）

３.大学全体の状況

３－３.学士課程

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	1,662	1,662	1,685	1,685															
		入学者数	人	1,742	1,769	1,792	1,788															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員（A）	人	1,662	1,662	1,685	1,685	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	1,742	1,769	1,792	1,788	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.05	1.06	1.06	1.06			-	-				-	-		-	-			
	収容定員等	収容定員（C）	人	6,694	6,694	6,717	6,740															
		編入学定員	人	22	22	22	22															
		在籍者数（D）	人	7,212	7,273	7,409	7,512															
		編入学者数	人	34	32	39	50															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.08	1.09	1.10	1.11															

４.外部資金の状況（全学）

年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	5,853,638	6,062,430	5,570,359																

特記事項

博士課程及び修士課程のその他の学期の入学定員0人、及び情報系組織の学士課程（理工学部数物･電子情報系学科情報工学教育プログラム）の編入学定員0名とは、若干名を意味している。また、情報系組織の学士課程（理工学部数物･電子情報系学科情報工学教育プログラム）の令和5年度入学定員は、募集人員を入学定員とみなし記載している。